

安切符買いは二度死ぬ

稲本 海

2011年8月9日、大学の前期の講義も終り……というか、このとき大学4年生だった私はすでに授業0コマ生活だったわけですが、と

にかく夏休みになったということで、仙台から青森の実家に帰省することになりました。ここで登場するのは、かの有名な青春18きっぷ。任意の5日間、日本全国JRの普通列車が乗り放題になるものです。これを使って、東北本線から、当時まだ乗ったことがなかった花輪線を経由し、奥羽本線に乗り継いで青森へ向かうルートをとるつもりでした。

真夏の暑い日差しが照りつける中、午前9時前に仙台駅を出発。このときすでに、先の小牛田以北で踏切事故によるダイヤの乱れがあるこ

とがわかっていました。若干の不安を抱えつつも、小牛田駅には定刻通り到着。

時刻は10時ちよつと前でしたが、所定8時49分発の一ノ関行きがまだ発車待ちの状態でした。陸羽東線に逃げて古川から新幹線に乗ろうかな、などという考えを巡らせましたが、最終的には一ノ関行きを選択。10時15分、列車は定刻より86分遅れで小牛田駅を発車しました。

10時45分、石越駅に停車し、ここでしばらく運転を見合わせるとの案内がありました。踏切事故はこの先で起きたようで、事故処理がまだ完全に終了していないようでした。

それから40分ほど経った頃、列車の運転再開

めどが立たないので、バスによる代行輸送になることが決定。乗客は降車させられ、駅舎の前でバスの到着を待つことに。しかしバスはなかなかやってきません。行程はグダグダなのに、皮肉なほど青く澄み渡る空、相変わらず照りつける強い日差し、募るイライラ……。

すると衝撃の発表が。
「申し訳ありません。列車を運転することになりました」

列車から降ろされて、暑い中立ちっぱなしでバス待つていたのに、結局列車で行くんかい!! ため息をつきながら再び電車に乗り込み、石越駅を出発。実に1時間以上も足止めを食らっていました。

トラブルに見舞われながらも、14時前に盛岡駅に到着。遅くなったので、すっかりお腹はペコペコ。必要以上に暑さにさらされたこともあり、駅前のびよんびよん舎で食べた冷麺は、より一層おいしく感じられました。



さて、ようやく今回の行程の目玉、初乗車の花輪線です。18きつぶに含まれない区間ゆえ別途必要になる好摩までの乗車券を購入し、い

ざ乗車。好摩駅に到着し、さあいよいよ花輪線だ、とわくわくしていましたが、所定の発車時刻を過ぎてもなかなか発車しません。そして、「ただいま、車両の不具合により運転を見合わせています」

なんと、この日二度目のトラブル。しかも、聞けばまたバス代行になるかも、と。わいー、なんぼかちやくちやねんず!! (※津軽弁で、ああ、なんて滅茶苦茶なんだ!!の意)



もう嫌になった私は、花輪線に入ることなく、進路変更して後続の列車でいわて沼宮内駅へ。帰省シーズンだというのに全く人気のない駅の中で、ただぼーっと1時間を過ごした後、一気に新青森駅まで新幹線に乗ってしまいました。安切符による普通列車帰省は、2010年末にもやろうとして頓挫したので、連続です。親にも「またかよ!!」と言われる始末でした。

その後、私がようやく花輪線の乗車を果たしたのは、2013年3月のことでした。山間を走る線路は非常に景色が良かっただけに、夏の青々とした木々に囲まれた中だったら、もつときれいだったろうなあ……と、あの時の無念を思いだしたのでした。